事例No.	1140
公表年度	R2
団体の属性	町村
団体名	和歌山県有田川町

事例区分	一般行政

タグ	・（行政改革）業務の効率化 ・事務の共同実施 ・情報公開

事例種類	森林の集積・集約化

事例内容・タイトル

森林経営管理制度を活用した意向調査の実施

出典

森林環境譲与税の取組事例集（令和２年10月）

和歌山県　有田川町（森林経営管理制度を活用した意向調査の実施）

- 有田川町では、近年の林業不振により後継者の不足や手入れの行き届かない森林が増加しているため、森林環境譲与税を活用して以下のことに取り組む方針。①森林の多面的利用を目的とした健全な森林の育成のため、間伐等により未整備森林の解消を図る。②町内森林より産出される木材の有効活用をおこなう。③町内住民に対して森林・林業への普及啓発をおこなう。
- 令和元年度においては、以下の取組で森林整備の推進につながった。
  - 1地域を町直営、２地域を２つの森林組合に委託し、1,465haの森林の意向調査を実施した。
  - 集積計画のモデルとして、5haの集積計画を公告した。（令和２年度に間伐業務発注見込）

□　事業内容

森林資源や森林の利用状況をふまえ計画的に森林経営管理法に基づく意向調査を行う。

1　意向調査の実施（委託事業）

【事　業　費】9,436千円（全額譲与税）

【実　　績】筆数：1,381筆　面積1,411ha　所有者380人

2　意向調査の実施（直営）

【事　業　費】158千円（全額譲与税）

【実　　績】 筆数：66筆　面積54ha　所有者43人



（シンポジウムの様子）

□　事業スキーム

1　意向調査（委託事業）

町 → 委託 → 森林組合 → 調査 → 所有者

2　意向調査（直営）

町 → 調査 → 所有者

□　工夫・留意した点

- 平成30年度に森林経営管理制度の普及啓発のため、弁護士等を講師とした森林経営管理法に関するシンポジウムを開催。
- シンポジウムは町内2箇所で同内容で開催。両会場で約200名が参加した。

◇　基礎データ

①令和元年度譲与額	29,496千円
②私有林人工林面積（※１）	17,516ha
③林野率（※２）	76.5%
④人口（※３）	26,361人
⑤林業就業者数（※４）	54人

※１：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」
※２：「2015農林業センサス」　※３，４：「H27年国勢調査」